ボーリング柱状図

調　査　名	中野東四丁目20地区急傾斜地崩壊対策事業に伴う設計業務委託
事業・工事名	中野東四丁目20地区急傾斜地崩壊対策事業

ボーリングNo 1

シートNo 1

ボーリング名	BorNo.1	調査位置	広島市安芸区中野東四丁目　地内			北緯	34° 23’ 46.74”
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	平成 29年 1月 12日 ～ 29年 1月 12日	東経	132° 34’ 41.39”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=31.27m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 42°	使用機種	試錐機	東邦D1-B型	ハンマー落下用具	半自動落下型
総掘進長	6.00m								エンジン	ヤンマーNF-12型	ポンプ	東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1					土・礫混り土	暗灰～暗褐	非常にゆるい		φ40mm/m迄の礫を所々に混入する、土砂よりなる。 表層付近は有機質土。
2	29.27	2.00	2.00						
	28.77	0.50	2.50		花崗岩・風化土	淡褐			岩級区分のDL～DM級に相当する、強風化花崗岩。 コアは土砂の柱状で採取され、指圧にてマサ土状を呈す。
3									
4					花崗岩・軟岩	淡褐			岩級区分のDH級に相当する、風化花崗岩。 コアは柱状で採取され、ハンマーの打撃によりマサ土状を呈す。 所々、小礫状を成す箇所が確認された。
5									
6	25.27	3.50	6.00						

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60
	1.15	1／16	1／15		2／31	2
	1.46					
	2.15	2／13	3／7	10	15／30	15
	2.45	50／6			50／6	250
	3.00					
	3.06	50／8			50／8	188
	4.00					
	4.08	50／8			50／8	188
	5.00					
	5.08	33	17／3		50／13	115
	6.10					
	6.23					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						1／12